

農研機構 九州沖縄農業研究センター

Kyushu-Okinawa Agricultural Research Center,
National Agriculture and Food Research Organization (KARC/NARO)



農研機構九州沖縄農業研究センターの役割と研究の方向

農地フル活用による暖地農畜産物の生産性向上と輸出拡大

温暖多雨な気候により様々な農産物の生産に適するとともに、アジア諸国への輸出拡大に有利な立地条件にある九州・沖縄地域において、気象リスク低減と農地フル活用による生産性の向上や、輸出拡大による所得の向上に向けた研究開発と成果の社会実装に取り組めます。

- 繁殖・育成・肥育シームレス管理による高品質低コスト和牛肉の輸出力強化
- かんしょと野菜を核とするデータ駆動型生産システムの構築
- 水田フル活用と作付最適化による高収益水田営農の実現

農研機構 組織図

2022.4.1 現在

理事長 監事

副理事長・理事

本部(管理本部含む)

基礎技術研究本部
・農業情報研究センター
・農業ロボティクス研究センター
・遺伝資源研究センター
・高度分析研究センター

セグメントⅠ
・食品研究部門
・畜産研究部門
・動物衛生研究部門

セグメントⅡ
・北海道農業研究センター
・東北農業研究センター
・中日本農業研究センター
・西日本農業研究センター
・九州沖縄農業研究センター

・農業機械研究部門

セグメントⅢ
・作物研究部門
・果樹茶業研究部門
・野菜花き研究部門
・生物機能利用研究部門

セグメントⅣ
・農業環境研究部門
・農村工学研究部門
・植物防疫研究部門

種苗管理センター

生物系特定産業技術研究支援センター

所 長

研究推進部

・事業化推進室
・研究推進室
・技術適用研究チーム

九州沖縄果樹研究調整役

暖地畜産研究領域

・肉用牛生産グループ
・飼料生産グループ

暖地畑作物野菜研究領域

・カンショ・サトウキビ育種グループ
・畑作物・野菜栽培グループ
・施設野菜グループ

暖地水田輪作研究領域

・スマート水田輪作グループ
・水田高度利用グループ
・作物育種グループ

研究領域

暖地畜産研究領域(合志)

和牛肉の輸出拡大に向け、分娩間隔の短縮と肥育出荷月齢の早期化により、高品質和牛肉の生産コスト削減を可能とする繁殖・育成・肥育シームレス管理システムを構築します。

- ・ 分娩間隔の短縮と肥育出荷月齢の早期化技術等に取り組みます。
- ・ 肉用牛飼養を支える良質な自給粗飼料を低コスト生産するための周年作付け体系の開発等に取り組みます。

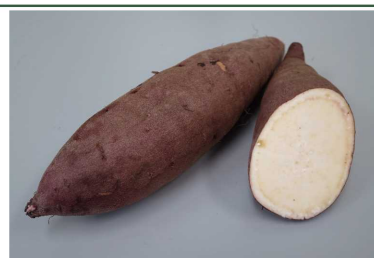


和牛肉の輸出拡大に向けた低コスト生産技術
(黒毛和種)

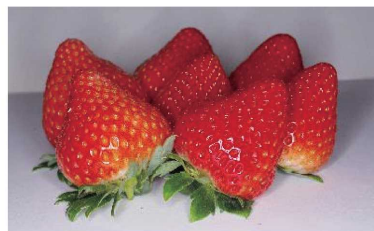
暖地畑作物野菜研究領域(都城・久留米・種子島・合志・糸満)

畑作物・野菜の安定生産や輸出拡大の実現のため、かんしょの病害虫抵抗性品種、イチゴ、アスパラガス等の供給期間の拡大を可能とする系統・品種、サトウキビ黒穂病抵抗性系統を育成します。また、かんしょの基腐病の被害を抑制する生産管理技術及び畑輪作システムを開発するとともに、イチゴ生産等における施設環境の精密管理技術を開発します。

- ・ 基腐病に強いカンショ品種や多収の病害虫抵抗性サトウキビ品種の育成に取り組みます。
- ・ 基腐病被害を抑制する生産管理技術や輸送中の腐敗を軽減する技術などの開発に取り組みます。
- ・ 収穫期の拡大や病害虫抵抗性を付与したイチゴ品種の育成や局所適時CO₂施用技術等を活用したイチゴの生産性向上技術の開発などに取り組みます。



カンショ品種「べにひなた」



イチゴ品種「恋みのり」

暖地水田輪作研究領域(筑後・合志)

暖地の特性を活かした水田輪作の生産性向上と所得増加に向け、麦類、大豆に加えて子実用トウモロコシを導入して農地をフル活用する作付最適化と気象リスクの低減により、200%の土地利用률을可能とする高収益輪作営農システムを構築します。

- ・ 暖地水田輪作技術の高度化と有機物利用技術の開発に取り組みます。
- ・ 気象リスク対応型暖地水田栽培技術の開発と高度利用システムの最適化に取り組みます。
- ・ 暖地で問題となる病虫害抵抗性を持つ水田輪作作物の品種育成に取り組みます。



九州北部2年4作体系

研究推進部技術適用研究チーム(都城・久留米)

技術適用研究チームは、これまでに農研機構で開発された技術を普及現場の条件に合わせて最適化・システム化する研究を実施し社会実装の加速化に取り組みます。

- ・ サツマイモ基腐病被害抑制に向けたカンショ健全苗の供給技術の開発に取り組みます。
- ・ 九州二毛作地帯向けのNARO方式乾田直播技術の適用拡大に取り組みます。



(左) サツマイモ基腐病に罹病した塊根
(右) 振動鎮圧ローラーによる鎮圧

所在地 地図

筑後・久留米研究拠点(久留米)
(福岡県久留米市)



口之津カンキツ研究試験地
(長崎県南島原市)



種子島研究拠点 (鹿児島県西之表市)



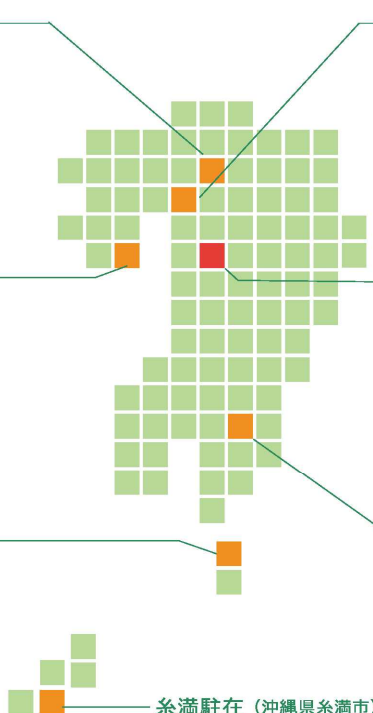
筑後・久留米研究拠点(筑後)
(福岡県筑後市)



合志研究拠点 (熊本県合志市)



都城研究拠点 (宮崎県都城市)



糸満駐在 (沖縄県糸満市)

所在地

合志研究拠点

〒861-1192 熊本県合志市須屋2421

Tel 096-242-1150(代表) Fax 096-249-1002

筑後・久留米研究拠点(筑後)

〒833-0041 福岡県筑後市大字和泉496

Tel 0942-52-3101(代表) Fax 0942-53-7776

筑後・久留米研究拠点(久留米)

〒839-8503 福岡県久留米市御井町1823-1

Tel 0942-43-8271(代表) Fax 0942-43-7014

都城研究拠点

〒885-0091 宮崎県都城市横市町6651-2

Tel 0986-24-4270(代表) Fax 0986-24-4283

種子島研究拠点

〒891-3102 鹿児島県西之表市安納1742-1

Tel 0997-25-0100(代表) Fax 0997-25-0888

口之津カンキツ研究試験地

〒859-2501 長崎県南島原市口之津町乙954

Tel 0957-86-2306(代表) Fax 0957-86-4268

糸満駐在

〒901-0336 沖縄県糸満市真壁820

Tel 098-840-3553(代表) Fax 098-840-3578

お問い合わせ

農研機構 九州沖縄農業研究センター

当センターの研究成果、パンフレットや技術マニュアルなどの出版物、また、イベントなどの情報は、ホームページでご覧いただけます。

Tel 096-242-7530(広報チーム) Fax 096-242-7543 <https://www.naro.go.jp/laboratory/karc/>
メール q_info@ml.affrc.go.jp

表紙写真: 南九州のカンショ生産ほ場



※「農研機構」は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。

○本冊子は、グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
○リサイクル適正の表示: 紙へリサイクル可 本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[A ランク]のみを用いて作製しています。